

令和6年度 意思決定支援研修(基礎編)アンケート結果

R6年11月27日開催分

1.「意思決定支援の基礎知識」の講義について

有意義だった	41
有意義でなかった	1

2.トークセッションについて

有意義だった	41
有意義でなかった	1

3.研修の内容について意見・感想など

- ・ご本人の話が聞けてよかった
- ・いい振り返りになりました。
- ・利用者は支援者に気を使っており、支援者の行動一つで意思決定支援に大きな影響が出るため、常に心に余裕を持って支援を心がけて行きます。
- ・利用者の話を聞いたり、利用者自身で日課を決めたりと自分の意思決定を促すことが大切だと感じた。
- ・よかったです
- ・当事者な生の声を聞かせてもらえてよかった
- ・当事者の方の話を聞いて、こんな風に考えているんだなと自分では想像出来なかった言葉もたくさん出てきていました。
- ・意思決定に至る過程まで自分で守りすぎた選択肢も決めつけた選択肢も持たないような工夫は必要と感じた
- ・分かりやすく、話を聞けてよかった
- ・当事者の方のお話をふまえたうえでの意思決定支援について学び、本人主体の意思決定や個別支援計画の作成に役立てたい。
- ・とても楽しく感じました。他の事業の方とのグループとも協議できまして、明日から実践したいと思います。
- ・本人様の生の気持ちなど聞くことができ良かった。答え合わせができたこともあれば、ずれていたなと思うこともあった。
- ・当事者の方のお話がとてもわかりやすく大変勉強になりました。支援者の方との信頼関係も垣間見えるトークセッションでお二人の掛け合いを聞きながら心が温くなる場面が何度もありました。
- ・利用者からの意見、体験話を聞くことが出来て大変勉強になり、普段の支援に対して考え直す・見直すきっかけが出来たと思う。
- ・現在の支援状況での課題であったり今後の支援の進め方とし有意義な時間になりました。
- ・登壇された方は「あくまでも個人の意見ですが…」と話されていましたが、利用者の方がどのように感じているのか意見が聞いたのがよかった。
- ・トークセッションで、利用者さん側がどう感じているかという話はためになった。
- ・相手の話じっくり聞く、そして待つのも大事だと思います。
- ・私は強度行動障害を持っている利用者さんと、身体のみ障害の利用者さんどちらもいる場所で仕事をしているのですが、Aさんがとても遠慮している姿やお話を見て、つい手のかかってしまう強度行動障害の方に時間をとってしまうけれど、意思疎通の取れる利用者さんにももっと時間をとって信頼関係や言いやすい状況を作らなければならないと反省しました。
- ・当事者の声や気持ちが聞けて良かった。雰囲気や環境、時間など改善が必要と思った。
- ・当事者の方のお話を聞いて、どんな思いで意思決定されているのかなど知ることができました。色々な方がいる中で、本人の気持ちに寄り添いながら意思決定できるように支援を行なっていかなければいけない改めて考えた時間でした。また、他の当事者の方のお話も聞いてみたいと思いました。
- ・意思決定の支援は、みんな必要と知っていながら、できていないと思うので、より深掘りしていけるとよいとおもう。
- ・普段の自分の支援を振り返ることができた。ゆっくり時間をかけて気持ちや意見を表出できる環境作りが大切だと改めて痛感した。選択する自由、選択しない自由の権利を行使できるような支援をしたい。
- ・実際にB型を利用されている方からの意思決定についてのこと、日頃のことなどを直接聞くことができいい機会になりました。トークの中で本人さんが言われていた支援する側の『笑顔』が大事と言われていたこと…忘れません。当たり前ですが、笑顔で人に接したり、もし何か嫌なことが家であっても気持ちを切り替えて人と関わること、大事にしていきます。ありがとうございます。
- ・Aさんのトークセッションは非常に勉強になる部分が多かったです。支援者である我々が落ち着いてしっかりゆっくりと余裕を持っておくというのが、利用者さんにとって意思表示、意思決定がしやすいのだと感じました。
- ・当事者のAさんの想いを聞く事で日々の支援現場で、利用者さんへの対応の振り返りになりました。利用者さんが支援者に壁を作っている。かもしれない。気を使わせているかもしれない。事は、良い視点であり。これからの支援で大事にしながら日々業務にとりくみたい。

- ・トークセッションは特に良かった。Aさんの意思が通ったとしても、嬉しい反面、相手に迷惑をかけていないかという心配も残るという言葉が心に残った。70%ほど意思を叶えていると言われていたが、そこまで大変な努力があるだろうし、支援者も大変な努力だと思った。大変勉強になりました。
- ・当事者の方のお話を聞くことができ、とても有意義な時間でした。自分が行っている意思決定支援の方法が適切かどうかを考え直すきっかけになりました。利用者の方が意思を伝えやすい環境、表情等支援者側ができることはたくさんあるので明日から意識しながら支援したいと思います。また、自分とは異なる職種の方とグループワークができ、異なる視点からの意見を聞くことができたので良い機会になりました。
- ・当事者の方との、トークセッションはとても有意義でした。当事者の方が、どのように考えどのような思いでいるのか、貴重な時間をありがとうございました。Aさんには、是非とも100%自分の意思を出す日！を月に1回でも作って欲しいと感じました。
- ・このような機会があることで、自分の支援を見つめ直す機会になり、支援の悩み解決のヒントにもなった。試せることから実践してみたい。また、ご本人を知り意思決定に結びつけるための時間を大切にしたい。
- ・今回の研修を通して、当事者の話を聞くことが出来たり、グループワークで似た職種の方と話をできたりして良かった。意思決定において、本人が遠慮なく支援者に意思表示できるような関係性の構築がいちばん大切だと感じた。今は発語が難しい児童の支援のため、言葉でのやり取りは難しいが、普段の関係性から本人の反応や色々なツールを用いて、子どもが自分で決定して生活できる環境を整えていきたいと思う。
- ・当事者の方をお気持ちをうかがえて、支援者として提案する際の、話し方や間の取り方など配慮をしようと思えることができました。利用者も支援者も気持ちよく過ごせるような支援をしていきたいと思えます。
- ・今回の研修で Aさん様の話を聞き 介護職員の気持ちも考えながら支援してもらっている事が分かりました が Aさん様の考えと違う方の方が多いように思います いつも悩みなながらの支援をしています またぎっくばらんに話せる研修をお願いします ありがとうございます
- ・問いかけるとき余裕を持ってあたること。心にきざんで支援にあたりたいです。
- ・意思決定支援で日々の業務が忙しく、人材不足もありなかなか思うように利用者の意見を聞くことも難しくなっている。今後の課題として、聞く時間、考える時間、その前に言いやすい雰囲気作りを施設全体、またユニット内で対応していけたらと思いました。
- ・教科書にある当たり前のように聞こえるような内容の支援でさえ、日々の業務での負担等により疎かになる部分があることや、不甲斐なさを感じる部分があることが知れました。当事者として話してくださった方の内容にあるように、質問に答える十分な時間もあれば良いことも当たり前だけ確保できてないところだと感じました。受け止め直しと学び直しの良い機会となりました。
- ・研修課題が「意思決定」についてと少し難しく考えていましたが、実際に利用者の方を招いての研修だったのもあり分かりやすかったです。利用者の方の気持ちを通しての意思決定について考える良い機会ができました。意思決定を行ってもらう時に支援者の価値観を押し付けてないかなど具体的な事も聞いて良かった。利用者の方との信頼関係の構築には、まずは笑顔が大事！話やすい支援者は話をゆっくり聞いてくれる事。意思決定を行う時も少し待つという事も大切だと感じました。
- ・本人の意思決定は我々指導員の選択肢を多く持ってゆっくりと話を聞く、一人一人とコミュニケーションを多くとることが必要だと思う。

4. その他、研修で希望する内容などのご要望

- ・知的障害などさまざまな状態にある本人の声を聞きたい
- ・次回の実践編にも参加できればと思いますので、よろしく願い致します。
- ・利用者さんが、選ばないほうがいいことを選ぶときもあると思います。そういう時はどのような対応をしているかも話したいです。
- ・次回の実践研修が楽しみです。
- ・本人様の意見や本人様同士の意見交換も聞いてみたい。まだ児童さんバージョンで親御さんも含めて聞いてみたいです。
- ・まだ当事者の方のお話を聞かせて頂ければと思います。
- ・障害者虐待防止研修
- ・意思決定に関して色々な事業所や相談所が取り組んでいる事例を紹介しあう会はどうかと思った。
- ・当事者のお話はとても参考になりました。他の方のお話もぜひ聞いてみたいと思いました。
- ・グループワークだけでも2時間話せると思った。
- ・就労の模擬作業でこの時こうい声かけを意識してるとか、そういった内容があればうれしいです。
- ・当事者とのトークセッションは、引き続き様々な研修であって欲しいと思えます。
- ・若手職員に向けた支援者としての心構えや技術の研修
- ・意思表示をするのが難しい方にどのような支援をするのが良いのか。
- ・現場での事例の報告会
- ・「発達障害の方の対応の仕方」